

外国人問題

問 外国人住民への情報提供は

答 英語版生活ガイドブックを配布



太田 伸子 議員

【外国人対策について】

問

外国人登録者数と村内外国人経営者の把握は

村長

平成25年3月末現在219名で、各地区旅館業組合と観光協会等の協力を頂き把握したところ、外国人経営者の施設は53施設です。

問

村に納税している外国人の数と割合は。

村長

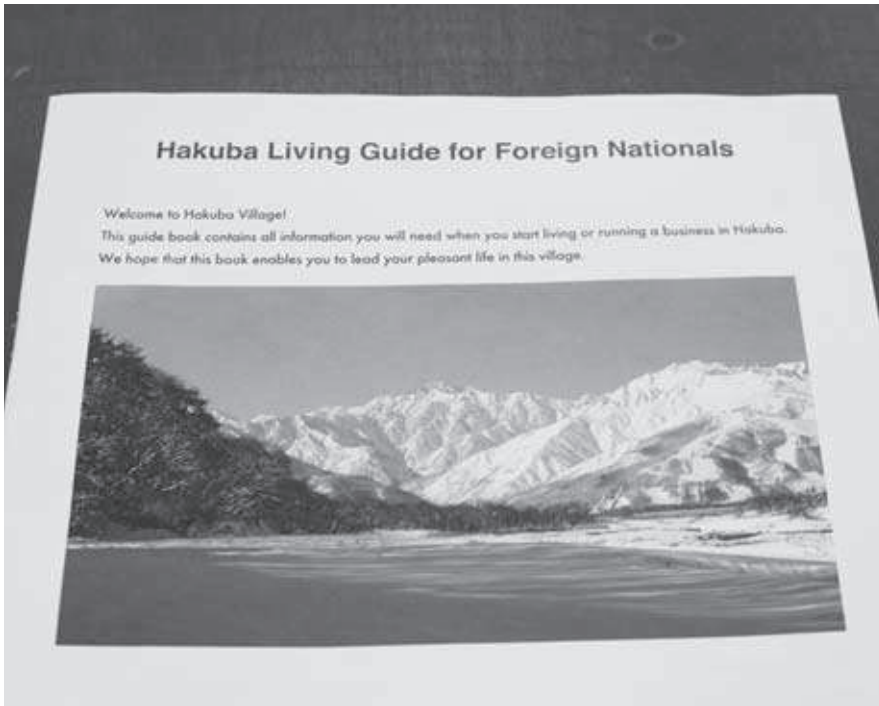
平成25年度課税で各税の積み上げ延べ人数は257人、国保税は79世帯です。国保税を含む村税全体の調定額に対する外国人調定額の割合は1・2%で、徴収率は11月現在87・8%です。

問 庁内で外国人のための窓口を一本化すること
は。また、入口の総合案内を機能させるような対策は。

問

副村長 庁舎の建物の構造上問題があり一本化は難しいが、ワンストップ方式として総合案内に英語が話せる職

村長



英語版生活ガイドブック

員を配置しています。

問 昨シーズンの外国人観光客の花火や駐車場の騒ぎについて、今シーズンの対策は。

副村長 白馬村外国人共生対策会議で、警察、外国人住民と協議し、外国人生活ガイドブックを外国人住民に、観光客には滞在のルールやマナーの注意喚起のチラシを配布します。

副村長

問 白馬村外国人共生対策会議で、警察、外国人住民と協議し、外国人生活ガイドブックを外国人住民に、観光客には滞在のルールやマナーの注意喚起のチラシを配布します。

【スノーハープについて】

問 メイン会場の水はけの状態は。

村長 排水対策として東西に幅4cm、深さ20cmの溝を掘り、軽石と上層には砂を入れ3mピッチで約7500m施工しました。下流の排水管より排水されるようになり、おおむね計画どおり排水不良が解消されたものと思います。ホタル水路は別ルートにより、流されないよう調整を図っています。

問 「山岳高原を活かして世界水準の滞在型観光地を形成するための構想」の県の補助事業を活用して、滞

在型観光客にも利用できるようローラーコースやランニングコースの整備の考えは。

村長 詳細な補助要件が示されていませんが、滞在型観光地の形成にむけてスノーハープ改修も含めながら検討を進めます。

問 有効利用として、国体の誘致の考えは。

村長 正式な開催要請が来ていませんが、前向きに検討します。

問 村の男女の平均寿命は。

村長 厚生労働省の公表では男性が80・9歳、女性が87・2歳です。

問 村民の健康づくりや体を動かす場の提供の考えは。

村長 健康づくりは健康増進計画の「健やか白馬21」に基づき保健予防・介護予防分野を中心に、体を動かす場の提供については総合型スポーツクラブや体協、生涯学習などにおいて機会を提供しています。